

## 「工事施行成績評定基準」の施工特性の取扱いについて

農政が発注する工事における施行成績評定において、面工事等「品質管理」のない工事等については、「施工特性」として評価する概念を取り入れ、平成27年1月から試行運用を行っておりますが、平成28年1月より下記の工種について運用表の見直しを行い、評価対象項目の一部修正及び追加、並びに「施工特性」に対応した運用表の追加等を行いました。

### (1) 評価対象項目の追加・修正

試行結果から、農地造成、客土、暗渠排水、区画整理、用排水及び管水路工事の品質（施工特性）の評価対象項目を追加する。また区画整理工事の出来ばえの評価対象項目を追加し、これに伴い評価基準を修正する。

#### ○ 請負工事成績評定採点表\_工事成績採点の考査項目別運用表

評価項目 3.出来形及び出来ばえ			
細 別	工 種	監 督 員	検 査 員
施工特性	農地造成工事（面関係・隔障物）	2C⑧-2	5C⑧-26
施工特性	客土工事	2C⑧-3	5C⑧-27
施工特性	暗渠排水工事	2C⑧-4	5C⑧-28
施工特性	区画整理工事	2C⑧-5	5C⑧-29
品 質	用排水（コンクリート等の2次製品、柵渠）		5C⑧-3
品 質	管水路工事		5C⑧-20
出来ばえ	区画整理工事		5C⑩-31

### (2) 様式の追加及び修正（施工特性対応）

品質管理が無い場合が想定される工事について、様式の追加及び修正する。

追加 監督員用 2C⑧-7～9（施工特性対應用）

修正 検査員用 5C⑧-3、9、20

#### ○ 請負工事成績評定採点表\_工事成績採点の考査項目別運用表

評価項目 3.出来形及び出来ばえ			
細 別	工 種	監 督 員	検 査 員
品質 or 施工特性	用排水（コンクリート等の2次製品、柵渠）	2C⑧-7	5C⑧-3
品質 or 施工特性	法面工事	2C⑧-8	5C⑧-9
品質 or 施工特性	管水路工事	2C⑧-9	5C⑧-20

※ コンクリート打設等、品質管理があり、ばらつきで判断できる場合は、従来どおり評定する。

工事成績採点の審査項目別運用表

【記入方法】 該当する項目に1を入れる。

(土木・監督員用)

評価項目 細別	工種	a		b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ							
II. 施工特性	品質 農地造成工事 (面関係・隔障物)	該当	評価	「評価対象項目」	評価	評価	評価
				【共通関係】			
		1	1	<input type="checkbox"/> 材料の品質が証明書類で確認できる。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
		1	1	<input type="checkbox"/> 用地境界、使用条件等の確認が適切に行っていることが確認できる。			
				【面工事関係】			
		1	1	<input type="checkbox"/> 抜根、排根で根ぶるい、反転により樹根の付着土が脱落していることが確認できる。			
		1	1	<input type="checkbox"/> 石レキの付着土が脱落していることが確認できる。			
		1	1	<input type="checkbox"/> 石レキ除去で、レキの堆積場所について、ほ場毎に堆積位置計画図を作成し工事監督員の承諾を受けて施工していることが確認できる。			
		1	1	<input type="checkbox"/> 排レキの堆積に当たり、レキ以外の排除物と区分し排除レキ量が計測しやすいように堆積していることが確認できる。			
		1	1	<input type="checkbox"/> 石レキ除去後の跡地は、平らに均されていることが確認できる。			
		1	1	<input type="checkbox"/> 石レキ除去後の無レキ層深は、均一に圧密され測定されたことが確認できる。	← 追加		
		1	1	<input type="checkbox"/> 盛土法尻仕上げが適切な条件で施工していることが確認できる。			
		1	1	<input type="checkbox"/> 表土厚の事前調査が適切に実施していることが確認できる。			
		1	1	<input type="checkbox"/> 樹根、レキ等の支障物が除去されていることが確認できる。			
		1	1	<input type="checkbox"/> 表土はぎ取りは、雑物等が混入しないように注意して施工していることが確認できる。			
		1	1	<input type="checkbox"/> 降雨後など、ほ場の泥濘化を助長するような機械作業を行っていないことが確認できる。			
		1	1	<input type="checkbox"/> 施工後のほ場において、既存植生の残渣や雑草が埋没し表面に露出していないことが確認できる。(反転耕起の場合)	← 追加		
		1	1	<input type="checkbox"/> 表土の基盤への混入や逸散がなく、集積した表土の流亡対策を行っていることが確認できる。			
		1	1	<input type="checkbox"/> 基盤の盛り立てが適切に行っていることが確認できる。			
		1	1	<input type="checkbox"/> 降雨等による影響を避けるためシートかけ等の排水対策を実施していることが確認できる。			
		1	1	<input type="checkbox"/> 砕土は、適度な耕土の水分状態のときに行い、土壌改良資材との効果的な混合が図られている。			
		1	1	<input type="checkbox"/> 種子や土壌改良資材は、設計図書仕様に基づき適切に保管されていることが確認できる。			
		1	1	<input type="checkbox"/> ほ場毎に資材の使用量がわかりやすく整理されていることが確認できる。			
		1	1	<input type="checkbox"/> 土壌改良資材は、所定量を均等に散布するよう留意して行っていることが確認できる。			
		1	1	<input type="checkbox"/> 肥料を2種類以上同時散布する場合、極力均等に散布できるよう層状、交互に積み込みを行いながら施工していることが確認できる。	← 追加		
		1	1	<input type="checkbox"/> 土壌改良材の散布は強風を避け行っていることが確認できる。	← 追加		
		1	1	<input type="checkbox"/> 播種は、強風・降雨・干天を避け行っていることが確認できる。			
		1	1	<input type="checkbox"/> 施肥播種は、設計図書の仕様に基づき適切な時期に行っていることが確認できる。			
		1	1	<input type="checkbox"/> 鎮圧は、機械器具に耕土が付着する状態を避け行っていることが確認できる。			
		1	1	<input type="checkbox"/> 鎮圧は、播種後速やかに行っていることが確認できる。			
		1	1	<input type="checkbox"/> 心土破碎は施工前にほ場毎に、けん引方向の計画をたて、工事監督員の承諾を受けてから施工していることが確認できる。			
		1	1	<input type="checkbox"/> 心土破碎のけん引方向及び深さや間隔が、適切に施工していることが確認できる。			
		1	1	<input type="checkbox"/> 心土破碎は良好な時期を選んで作業していることが確認できる。			
				<input type="checkbox"/> その他 (理由: )			
				【隔障物関係】			
		1	1	<input type="checkbox"/> 隔障物の本柱にキズ、塗装に損傷がないことが確認できる。			
		1	1	<input type="checkbox"/> 隔障物の本柱の打ち込みは、緩衝材を用いていることが確認できる。			
				<input type="checkbox"/> その他 (理由: )			
		32	32				
				該当項目の全てを達成…………… a			
				該当項目の内達成項目が50%~100%未満… b			
				該当項目の内達成項目が50%未満…………… c			
		評価率	100%				
		評定	a				
		点数	7				

※ 試行結果から、評価対象項目が少なく適正な評価が難しいことから、評価対象項目を追加する。

工事成績採点の考査項目別運用表

【記入方法】 該当する項目に1を入れる。

(土木・監督員用)

評価項目細別	工種	a		b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 施工特性	客土工事	該当	評価	「評価対象項目」		評価	評価
		1	1	<input type="checkbox"/> 客入土に埋木、石塊、草木片及び雪塊が混入していないことが確認できる。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
		1	1	<input type="checkbox"/> 客入量の確認を行った後、散布されていることが確認できる。			
		1	1	<input type="checkbox"/> あらかじめ工事監督員と土質の確認（抜坪試験・試験成績表など）を行っていることが確認できる。			
		1	1	<input type="checkbox"/> 運搬に使用するダンプトラック一台当たりの積載量を確認するなど搬入量を的確に管理していることが確認できる。			
		1	1	<input type="checkbox"/> 客入土の大きな土塊は砕いて散布されていることが確認できる。			
		1	1	<input type="checkbox"/> ほ場内小運搬は、均等に客入土を分散できるように計画図を作成し行っていることが確認できる。			
		1	1	<input type="checkbox"/> 放下整理を適切に行っていることが確認できる。			
		1	1	<input type="checkbox"/> 土取場の土砂流亡対策（簡易な整地、水切り等の保守）を行っていることが確認できる。			
		1	1	<input type="checkbox"/> 運搬路線の防じん対策に散水を行っていることが確認できる。		← 追加	
		1	1	<input type="checkbox"/> 作業員（清掃人夫等）の配置について、設計図書のとおり配置させていることが確認できる。		← 追加	
		1	1	<input type="checkbox"/> 工事開始前に地元関係機関に工事の概要を通知していることが確認できる。		← 追加	
		1	1	<input type="checkbox"/> 土取場並びに中継所周辺や踏切等の落土清掃をおこなっていることが確認できる。		← 追加	
		1	1	<input type="checkbox"/> 攪拌工の施工に当たり、気象条件等の確認を行い、客土と表土がなじみよく混ざるように施工していることが確認できる。		← 追加	
					<input type="checkbox"/> その他（理由： ）		
		14	14				
				該当項目の全てを達成…………… a			
				該当項目の内達成項目が50%～100%未満… b			
				該当項目の内達成項目が50%未満…………… c			
		評価率	100%				
		評定	a	※評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。			
		点数	7				

※ 試行結果から、評価対象項目が少なく適正な評価が難しいことから、評価対象項目を追加する。

工事成績採点の考査項目別運用表

【記入方法】 該当する項目に1を入れる。

(土木・監督員用)

評価項目細別	工種	a		b	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ  II. 施工特性	暗渠排水工事	該当	評価	「評価対象項目」			評価	評価
		1	1	<input type="checkbox"/> 材料の品質が証明書類で確認できる。			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
		1	1	<input type="checkbox"/> 管内に土砂・泥水が入らないように施工していることが確認できる。				
		1	1	<input type="checkbox"/> 施工に先立ち、各ほ場の吸水渠や集水渠の掘削深・勾配の計画したものを監督員の承諾を受け、計画とおりに行っていることが確認できる。				
		1	1	<input type="checkbox"/> 渠底部に凹凸や蛇行がなく、流下勾配が確保されていることが確認できる。				
		1	1	<input type="checkbox"/> 吸水渠、集水渠の掘削で設計図書の仕様に示す最低埋設深が確認できる。				
		1	1	<input type="checkbox"/> 湛水、湧水がある場合、適当な水切り等を設けていることが確認できる。				
		1	1	<input type="checkbox"/> 管の接続及び異形管部への接続が適切に行っていることが確認できる。				
		1	1	<input type="checkbox"/> 疎水材は管敷設後すみやかに投入され、管のずれや土砂の混入がないことが確認できる。				
		1	1	<input type="checkbox"/> 水閘・落口工の埋め戻しは、適切に施工していることが確認できる。				
		1	1	<input type="checkbox"/> 管路の埋め戻しは <b>作土と心土に分け、水分の少ない時点で施工し、乾いた土で行っていることが確認できる。</b>				
		1	1	<input type="checkbox"/> <b>埋め戻し土は、作土層と心土層に分け、それぞれの土層に埋め戻している事が確認できる。</b>				
		1	1	<input type="checkbox"/> <b>水甲部と暗渠本体は確実に接合していることが確認できる。</b>				
		1	1	<input type="checkbox"/> <b>管理孔と暗渠本体は確実に接続していることが確認できる。</b>				
		1	1	<input type="checkbox"/> <b>埋木、石レキ等支障物がある場合は除去して施工していることが確認できる。</b>				
		<input type="checkbox"/> その他（理由： ）			← 一部修正			
		15	15				← 追加	
				該当項目の全てを達成…………… a			← 追加	
				該当項目の内達成項目が50%～100%未満… b			← 追加	
				該当項目の内達成項目が50%未満…………… c			← 追加	
		評価率	100%				← 追加	
		評定	a	※評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。				
		点数	7					

※ 試行結果から、評価対象項目が少なく適正な評価が難しいことから、評価対象項目を追加する。また、工事实施状況に合わせ内容を一部修正する。

工事成績採点の考査項目別運用表

【記入方法】 該当する項目に1を入れる。

(土木・監督員用)

評価項目 細別	工種	a		b	c	d	e		
3. 出来形及び 出来ばえ	II. 施工特性 区画整理 工事	該当	評価	「評価対象項目」	評価	品質関係の測定方法 又は測定値が不適切で あったため、工事監督 員が文書で改善指示を 行い改善された。	評価	品質関係の測 定方法又は測定 値が不適切で あったため、検 査員が修補指示 を行った。	
		1	1	<input type="checkbox"/> 材料の品質が証明書類で確認できる。					← 一部修正 ← 追加  ← 追加 ← 追加 ← 追加
		1	1	<input type="checkbox"/> 施工に先立ち地区外の排水を遮断し、地区内の地表及び地下水を排除していることが確認できる。					
		1	1	<input type="checkbox"/> 施工に先立ち表土の堆積場所を計画し、適切に実施していることが確認できる。					
		1	1	<input type="checkbox"/> 表土厚の事前調査が適切に実施していることが確認できる。					
		1	1	<input type="checkbox"/> 表土はぎ取りは、雑物等が混入しないように注意して施工していることが確認できる。					
		1	1	<input type="checkbox"/> 降雨後など、ほ場の泥濘化を助長するような機械作業を行っていないことが確認できる。					
		1	1	<input type="checkbox"/> 表土に基盤土の混入や逸散がなく、集積した表土の流亡対策を行っていることが確認できる。					
		1	1	<input type="checkbox"/> 畦畔は漏水を誘発するような石レキ、雑物等が混入していないことが確認できる。					
		1	1	<input type="checkbox"/> 基盤の盛り立てが適切に行っていることが確認できる。					
		1	1	<input type="checkbox"/> 反転均平において、土壌を十分に乾燥させて施工しているのが確認できる。					
		1	1	<input type="checkbox"/> 植生工は設計図書とおり行っていることが確認できる。					
		1	1	<input type="checkbox"/> 客土工は設計図書とおり行っていることが確認できる。					
		1	1	<input type="checkbox"/> 暗渠排水工は設計図書とおり行っていることが確認できる。					
		1	1	<input type="checkbox"/> 用・排水路は設計図書とおり行っていることが確認できる。					
		1	1	<input type="checkbox"/> コンクリート二次製品の吊り込み、据付は十分な注意を払っていることが確認できる。					
		1	1	<input type="checkbox"/> その他（理由： _____）					
16	16								
		該当項目の全てを達成…………… a							
		該当項目の内達成項目が50%～100%未満… b							
		該当項目の内達成項目が50%未満…………… c							
評価率	100%								
評定	a	※評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。							
点数	7								

※ 試行結果から、評価対象項目が少なく適正な評価が難しいことから、評価対象項目を追加する。また、工事実施状況に合わせ内容を一部修正する。

工事成績採点の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(土木・監督員用)

評価項目 細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e			
3. 出来形 及び出来 ばえ II. 施工特 性	用排水 (コンク リート等 の2次製 品、柵 渠)	該当	評価	「評価対象項目」			評価	評価			
		1	1	<input type="checkbox"/> 製品の構造が設計条件を満たしていることが確認できる。			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法 又は測定値が不適切で あったため、工事監督 員が文書で改善指示を 行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測 定方法又は測定 値が不適切で あったため、検 査員が修補指示 を行った。			
		1	1	<input type="checkbox"/> 材料の品質が証明書類で確認できる。							
		1	1	<input type="checkbox"/> 製品に損傷及び補修痕がないことが確認できる。							
		1	1	<input type="checkbox"/> 転倒や崩壊等がないよう製品の仮置を行っていることが確認できる。							
		1	1	<input type="checkbox"/> 設計図書で示された通り施工していることが確認できる。							
		1	1	<input type="checkbox"/> 均しコンクリートは、基礎材転圧完了後、ブロックの据付に支障のないように平坦に仕上げられていることが確認できる。							
		1	1	<input type="checkbox"/> モルタル目地の施工は、据付け後、よく清掃してから行っていることが確認できる。							
		1	1	<input type="checkbox"/> モルタル以外の目地材及び伸縮目地の設置は、設計図書に基づき施工していることが確認できる。							
		1	1	<input type="checkbox"/> 掘削を行うにあたり、床付面以下を乱さないように施工していることが確認できる。							
		1	1	<input type="checkbox"/> 基礎砂利等の転圧は適切に行われていることが確認できる。							
				<input type="checkbox"/> その他（理由： _____）							
				10	10						
						該当項目の全てを達成…………… a					
				該当項目の内達成項目が50%～100%未満… b							
				該当項目の内達成項目が50%未満…………… c							
		評価率	100%								
		評定	0	※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。							
		点数	-								

※ 施工特性の試行運用に伴い、運用表の様式を追加する。

※ 試行結果から、評価対象項目が少なく適正な評価が難しいことから、評価対象項目を追加する。



工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目 細別	工種	a		a'	b		b'	c		d		e
		該当	評価	「評価対象項目」	評価	「評価対象項目」	評価					
3. 出来形 及び出来 ばえ II. 施工特 性	管水路工 事	1	1	<input type="checkbox"/> 材料の品質が証明書類で確認できる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法 又は測定値が不適切で あったため、工事監督 員が文書で改善指示を 行い改善された。  <input type="checkbox"/> 品質関係の測 定方法又は測定 値が不適切で あったため、検 査員が修補指示 を行った。	1	1	<input type="checkbox"/> 管及び付属品は、設計図書の仕様に基づき適切に運搬・集積・保管されていることが確認できる。 ← 一部修正	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法 又は測定値が不適切で あったため、工事監督 員が文書で改善指示を 行い改善された。  <input type="checkbox"/> 品質関係の測 定方法又は測定 値が不適切で あったため、検 査員が修補指示 を行った。	1	1	<input type="checkbox"/> 設計図書に示された掘削断面が確保され、床付面以下を乱さないように施工していることが確認できる。
		1	1	<input type="checkbox"/> 管の敷設に先立ち管割図を作成し、また、変更となった場合も修正した管割図を作成し、管体にも同じ番号をマーキングして敷設していることが確認できる。 ← 追加								
		1	1	<input type="checkbox"/> 管の布設にあたり、標高、中心線、配管延長が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。								
		1	1	<input type="checkbox"/> 管体の接合は、設計図書に基づき施工していることが確認できる。								
		1	1	<input type="checkbox"/> 管の下部、側部の締め固めが設計図書に定められた条件で施工していることが確認できる。								
		1	1	<input type="checkbox"/> 配管作業で管内部への土砂等の流入防止に対する措置をしていることが確認できる。								
		1	1	<input type="checkbox"/> 管の吊り込み、据付は十分な注意を払っていることが確認できる。								
		1	1	<input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験等を行っており、コンクリートの品質（強度・W/C、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。								
		1	1	<input type="checkbox"/> コンクリートの受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。								
		1	1	<input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。								
		1	1	<input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）								
		1	1	<input type="checkbox"/> コンクリート養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。								
		1	1	<input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。								
		1	1	<input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。								
		1	1	<input type="checkbox"/> スーパーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。								
		1	1	<input type="checkbox"/> 通水試験（継ぎ目、水張り、水圧）が、設計図書に基づき行っていることが確認できる。								
							<input type="checkbox"/> その他（理由： _____）					
				18		18						
				該当項目の全てを達成…………… a								
				該当項目の内達成項目が50%～100%未満… b								
				該当項目の内達成項目が50%未満…………… c								
		評価率	100%									
		評定	0	※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。								
		点数	-									

※ 施工特性の試行運用に伴い、運用表の様式を追加する。

※ 試行結果から、評価対象項目が少なく適正な評価が難しいことから、評価対象項目を追加する。また、工事実施状況に合わせ内容を一部修正する。

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質 or 施工特性 ↑ 一部修正	用排水 (コンクリート等の2次製品、柵渠)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況 (評価率) から判断する。(判断基準参照)							
		該当	評価	「評価対象項目」			評価	評価	
		1	1	☐ 製品の構造が設計条件を満たしていることが確認できる。			☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。  ← 追加  ← 追加  ← 追加	☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
		1	1	☐ 材料の品質が証明書類で確認できる。					
		1	1	☐ 製品に損傷及び補修痕がないことが確認できる。					
		1	1	☐ 転倒や崩壊等がないよう製品の仮置を行っていることが確認できる。					
		1	1	☐ 設計図書で示された通り施工していることが確認できる。					
		1	1	☐ 均しコンクリートは、基礎材転圧完了後、ブロックの据付に支障のないように平坦に仕上げられていることが確認できる。					
		1	1	☐ モルタル目地の施工は、据付け後、よく清掃してから行っていることが確認できる。					
		1	1	☐ モルタル以外の目地材及び伸縮目地の設置は、設計図書に基づき施工していることが確認できる。					
		1	1	☐ 掘削を行うにあたり、床付面以下を乱さないように施工していることが確認できる。					
		1	1	☐ 基礎砂利等の転圧は適切に行われていることが確認できる。					
				☐ その他 (理由 : )					
10	10	「品質関係の試験結果のばらつき」							
		☐ ばらつきが50%以内							
		☐ ばらつきが80%以内							
		☐ ばらつきが80%を超える							
		☐ ばらつきで判断不可能 (施工特性) ← 追加							
評価率	100%								
評定		※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。							
点数	-								

「判断基準」

	ばらつきで判断可能			施工特性として判断		
	50%以内	80%以内	80%を超える			
評価率				100%	a	
	90%以上	a	a'	b	90%以上100%未満	a'
	75%以上90%未満	a'	b	b'	75%以上90%未満	b
	60%以上75%未満	b	b'	c	60%以上75%未満	b'
	60%未満	b'	c	c	60%未満	c

※ばらつきで判断できない場合は、施工特性として評価する。

- ※ 施工特性の試行運用に伴い、運用表の様式を施工特性に対応できるよう、判断基準等を追加修正する。
- ※ 試行結果から、評価対象項目が少なく適正な評価が難しいことから、評価対象項目を追加する。また、工事実施状況に合わせ内容を一部修正する。

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目 細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質 or 施工特性 ↑ 一部修正	法面工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。（判断基準参照）							
		該当	評価	「評価対象項目」				評価	評価
		1	1	【共通】				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
		1	1	<input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。（特に法枠工、コンクリート又はモルタル吹付工関係） <input type="checkbox"/> 施工に際して、基面の安定や吹き付け材の付着に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起らないよう締固めを十分行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起らないように、法面にシートをかける等の排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由： ）					
		1	1	【種子吹付工、客土吹付工、植生基材吹付工関係】					
		1	1	<input type="checkbox"/> 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由： ）					
		1	1	【コンクリート又はモルタル吹付工関係】					
		1	1	<input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網が破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吸水性の吹付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由： ）					
		1	1	【現場打法枠工関係（プレキャスト法枠工含む）】					
		1	1	<input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 枠内に空隙がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 層間にはく離がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他（理由： ）					
		1	1	「品質関係の試験結果のばらつき」					
		1	1	<input type="checkbox"/> ばらつきが50%以内 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以内 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能（施工特性） ← 追加					
		26	26						
		評価率	100%						
		評定	a	※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。					
		点数	15						

「判断基準」

	ばらつきで判断可能			施工特性として判断	
	50%以内	80%以内	80%を超える		
100%				100%	a
90%以上	a	a'	b	90%以上100%未満	a'
75%以上90%未満	a'	b	b'	75%以上90%未満	b
60%以上75%未満	b	b'	c	60%以上75%未満	b'
60%未満	b'	c	c	60%未満	c

← 追加

※ばらつきで判断できない場合は、施工特性として評価する。

※ 施工特性の試行運用に伴い、運用表の様式を施工特性に対応できるよう、判断基準等を追加修正する。

工事成績採点の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																						
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質 or 施工特性 ↑ 一部修正	管水路工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。（判断基準参照）																																												
		該当	評価	「評価対象項目」			評価	評価																																						
		1	1	□ 材料の品質が証明書類で確認できる。			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。  ← 追加	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																																						
		1	1	□ 管及び付属品は、設計図書の仕様に基づき適切に運搬・集積・保管されていることが確認できる。 ← 一部修正																																										
		1	1	□ 設計図書に示された掘削断面が確保され、床付面以下を乱さないように施工していることが確認できる。																																										
		1	1	□ 管の敷設に先立ち管割図を作成し、また、変更となった場合も修正した管割図を作成し、管体にも同じ番号をマーキングして敷設していることが確認できる。																																										
		1	1	□ 管の布設にあたり、標高、中心線、配管延長が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。																																										
		1	1	□ 管体の接合は、設計図書に基づき施工していることが確認できる。																																										
		1	1	□ 管の下部、側部の締め固めが設計図書に定められた条件で施工していることが確認できる。																																										
		1	1	□ 配管作業で管内部への土砂等の流入防止に対する措置をしていることが確認できる。																																										
		1	1	□ 管の吊り込み、据付は十分な注意を払っていることが確認できる。																																										
		1	1	□ コンクリートの配合試験等を行っており、コンクリートの品質（強度・W/C、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。																																										
		1	1	□ コンクリートの受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。																																										
		1	1	□ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。																																										
		1	1	□ 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締め固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）																																										
		1	1	□ コンクリート養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。																																										
		1	1	□ コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。																																										
		1	1	□ 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。																																										
		1	1	□ スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。																																										
		1	1	□ 通水試験（継ぎ目、水張り、水圧）が、設計図書に基づき行っていることが確認できる。																																										
		□ その他（理由： _____）																																												
18	18	「品質関係の試験結果のばらつき」																																												
1		□ ばらつきが50%以内			「判断基準」 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価率</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th colspan="2">施工特性として判断</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%を超える</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>100%</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>90%以上100%未満</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>75%以上90%未満</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>60%以上75%未満</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>60%未満</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> ※ばらつきで判断できない場合は、施工特性として評価する。	評価率	ばらつきで判断可能			施工特性として判断		50%以内	80%以内	80%を超える			90%以上	a	a'	b	100%	a	75%以上90%未満	a'	b	b'	90%以上100%未満	a'	60%以上75%未満	b	b'	c	75%以上90%未満	b	60%未満	b'	c	c	60%以上75%未満	b'					60%未満	c
評価率	ばらつきで判断可能			施工特性として判断																																										
	50%以内	80%以内	80%を超える																																											
90%以上	a	a'	b	100%		a																																								
75%以上90%未満	a'	b	b'	90%以上100%未満		a'																																								
60%以上75%未満	b	b'	c	75%以上90%未満	b																																									
60%未満	b'	c	c	60%以上75%未満	b'																																									
				60%未満	c																																									
		□ ばらつきが80%以内																																												
		□ ばらつきが80%を超える																																												
		□ ばらつきで判断不可能（施工特性） ← 追加																																												
評価率	100%																																													
評定	a	※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。																																												
点数	15																																													

※ 施工特性の試行運用に伴い、運用表の様式を施工特性に対応できるように、判断基準等を追加修正する。

※ 試行結果から、評価対象項目が少なく適正な評価が難しいことから、評価対象項目を追加する。また、工事実施状況に合わせ内容を一部修正する。

工事成績採点の考査項目別運用表

【記入方法】 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目 細別	工種	a		a'	b	b'	c	d	e
		該当	評価	「評価対象項目」	評価		評価		
3. 出来形及び出来ばえ									
II. 施工特性	品質 農地造成工事(面関係・隔障物)	1	1	<input type="checkbox"/> 共通関係 <input type="checkbox"/> 材料の品質が証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 用地境界、使用条件等の確認が適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 面工事関係 <input type="checkbox"/> 抜根、排根で根ぶるい、反転により樹根の付着土が脱落していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 石レキの付着土が脱落していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 石レキ除去で、レキの堆積場所について、ほ場毎に堆積位置計画図を作成し工事監督員の承諾を受けて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 排レキの堆積に当たり、レキ以外の排除物と区分し排除レキ量が計測しやすいように堆積していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 石レキ除去後の跡地は、平らに均されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 石レキ除去後の無レキ層深は、均一に圧密され測定されたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 盛土法尻仕上げが適切な条件で施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 表土厚の事前調査が適切に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 樹根、レキ等の支障物が除去されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 表土はぎ取りは、雑物等が混入しないように注意して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 降雨後など、ほ場の泥濘化を助長するような機械作業を行っていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工後のほ場において、既存植生の残渣や雑草が埋没し表面に露出していないことが確認できる。(反転耕起の場合) <input type="checkbox"/> 表土の基盤への混入や逸散がなく、集積した表土の流亡対策を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 基盤の盛り立てが適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 降雨等による影響を避けるためシートかけ等の排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 砕土は、適度な耕土の水分状態のてきに行い、土壌改良資材との効果的な混合が図られている。 <input type="checkbox"/> 種子や土壌改良資材は、設計図書の様に基づき適切に保管されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ほ場毎に資材の使用量がわかりやすく整理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 土壌改良資材は、所定量を均等に散布するよう留意して行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 肥料を2種類以上同時散布する場合、極力均等に散布できるよう層状、交互に積み込みを行いながら施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 土壌改良材の散布は強風を避け行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 播種は、強風・降雨・干天を避け行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施肥播種は、設計図書の様に基づき適切な時期に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鎮圧は、機械器具に耕土が付着する状態を避け行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鎮圧は、播種後速やかに行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 心土破碎は施工前にほ場毎に、けん引方向の計画をたて、工事監督員の承諾を受けてから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 心土破碎のけん引方向及び深さや間隔が、適切に施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 心土破碎は良好な時期を選んで作業していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他(理由: )	← 追加	← 追加	← 追加	← 追加	
		1	1	<input type="checkbox"/> 隔障物関係 <input type="checkbox"/> 隔障物の本柱にキズ、塗装に損傷がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 隔障物の本柱の打ち込みは、緩衝材を用いていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他(理由: )					
		32	32						
				該当項目の全てを達成…………… a					
				該当項目の内達成項目が90%~100%未満… a'					
				該当項目の内達成項目が75%~90%未満… b					
				該当項目の内達成項目が60%~75%未満… b'					
				該当項目の内達成項目が60%未満…………… c					
		評価率	100%						
		評定	a	※評価対象項目が2項目以下の場合c評価とする。					
		点数	15						

※ 試行結果から、評価対象項目が少なく適正な評価が難しいことから、評価対象項目を追加する。



工事成績採点の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目 細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e				
3. 出来形及び出来ばえ  II. 施工特性	暗渠排水 工事	該当	評価	「評価対象項目」			評価	評価				
		1	1	<input type="checkbox"/> 材料の品質が証明書類で確認できる。			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。				
		1	1	<input type="checkbox"/> 管内に土砂・泥水が入らないように施工していることが確認できる。								
		1	1	<input type="checkbox"/> 施工に先立ち、各ほ場の吸水渠や集水渠の掘削深・勾配の計画したものを監督員の承諾を受け、計画とおりに行っていることが確認できる。								
		1	1	<input type="checkbox"/> 渠底部に凹凸や蛇行がなく、流下勾配が確保されていることが確認できる。								
		1	1	<input type="checkbox"/> 吸水渠、集水渠の掘削で設計図書の仕様に示す最低埋設深が確認できる。								
		1	1	<input type="checkbox"/> 湛水、湧水がある場合、適当な水切り等を設けていることが確認できる。								
		1	1	<input type="checkbox"/> 管の接続及び異形管部への接続が適切に行っていることが確認できる。								
		1	1	<input type="checkbox"/> 疎水材は管敷設後すみやかに投入され、管のずれや土砂の混入がないことが確認できる。								
		1	1	<input type="checkbox"/> 水閘・落口工の埋め戻しは、適切に施工していることが確認できる。								
		1	1	<input type="checkbox"/> 管路の埋め戻しは作土と心土に分け、水分の少ない時点で施工し、乾いた土で行っていることが確認できる。								
		1	1	<input type="checkbox"/> 埋め戻し土は、作土層と心土層に分け、それぞれの土層に埋め戻している事が確認できる。								
		1	1	<input type="checkbox"/> 水甲部と暗渠本体は確実に接合していることが確認できる。								
		1	1	<input type="checkbox"/> 管理孔と暗渠本体は確実に接続していることが確認できる。								
		1	1	<input type="checkbox"/> 埋木、石レキ等支障物がある場合は除去して施工していることが確認できる。								
		1	1	<input type="checkbox"/> その他（理由： ）								
				15	15							
				該当項目の全てを達成…………… a								
				該当項目の内達成項目が90%～100%未満… a'								
				該当項目の内達成項目が75%～90%未満… b								
				該当項目の内達成項目が60%～75%未満… b'								
				該当項目の内達成項目が60%未満…………… c								
		評価率	100%									
		評定	a	※評価対象項目が2項目以下の場合にはc評価とする。								
		点数	15									

※ 試行結果から、評価対象項目が少なく適正な評価が難しいことから、評価対象項目を追加する。また、工事实施状況に合わせ内容を一部修正する。

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

評価項目 細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	II. 施工特性 区画整理 工事	該当	評価	「評価対象項目」			評価	評価
		1	1	<input type="checkbox"/> 材料の品質が証明書類で確認できる。			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。  ← 一部修正 ← 追加  ← 追加 ← 追加 ← 追加	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
		1	1	<input type="checkbox"/> 施工に先立ち地区外の排水を遮断し、地区内の地表及び地下水を排除していることが確認できる。				
		1	1	<input type="checkbox"/> 施工に先立ち表土の堆積場所を計画し、適切に実施していることが確認できる。				
		1	1	<input type="checkbox"/> 表土厚の事前調査が適切に実施していることが確認できる。				
		1	1	<input type="checkbox"/> 表土はぎ取りは、雑物等が混入しないように注意して施工していることが確認できる。				
		1	1	<input type="checkbox"/> 降雨後など、ほ場の泥濘化を助長するような機械作業を行っていないことが確認できる。				
		1	1	<input type="checkbox"/> 表土に基盤土の混入や逸散がなく、集積した表土の流亡対策を行っていることが確認できる。				
		1	1	<input type="checkbox"/> 畦畔は漏水を誘発するような石レキ、雑物等が混入していないことが確認できる。				
		1	1	<input type="checkbox"/> 基盤の盛り立てが適切に行っていることが確認できる。				
		1	1	<input type="checkbox"/> 反転均平において、土壌を十分に乾燥させて施工しているのが確認できる。				
		1	1	<input type="checkbox"/> 植生工は設計図書とおり行っていることが確認できる。				
		1	1	<input type="checkbox"/> 客土工は設計図書とおり行っていることが確認できる。				
		1	1	<input type="checkbox"/> 暗渠排水工は設計図書とおり行っていることが確認できる。				
		1	1	<input type="checkbox"/> 用・排水路は設計図書とおり行っていることが確認できる。				
1	1	<input type="checkbox"/> コンクリート二次製品の吊り込み、据付は十分な注意を払っていることが確認できる。						
1	1	<input type="checkbox"/> その他（理由： _____）						
16	16	該当項目の全てを達成…………… a						
		該当項目の内達成項目が90%～100%未満… a'						
		該当項目の内達成項目が75%～90%未満… b						
		該当項目の内達成項目が60%～75%未満… b'						
		該当項目の内達成項目が60%未満…………… c						
評価率	100%							
評定	a	※評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。						
点数	15							

※ 試行結果から、評価対象項目が少なく適正な評価が難しいことから、評価対象項目を追加する。また、工事実施状況に合わせ内容を一部修正する。

